



ホース・リール・キット
マルチプロ 5600/5700 ターフ・スプレーヤ用
Model No. 41569 Serial No. 24000102 and Up

取り付け手順書

取り付け

注：前後左右は運転位置からみた方向です。

注：電気配線図と液剤配管図については、パーツ・カタログを参照してください。

注：このキットの取り付けにはテフロン・テープが必要ですのであらかじめ用意してください。

内容	数量	用途
ホース・リール・サポート	1	
フランジヘッド・ボルト, 3/8 x 1 インチ	10	
フランジ・ナット、3/4 インチ	10	
ホース・リール・ストラップ	2	
ホース・リール・アセンブリ	1	フレームの組立に使用します。
フランジヘッド・ボルト, 5/16 x 1 インチ	1	
フランジ・ナット、5/16 インチ	1	
ケーブル・タイ	10	
コントロール・ボックス・サポート・ブラケット	1	
フランジヘッド・ボルト, 1/2 x 1/2 インチ	1	
フランジ・ナット, 1/2 インチ	1	
制御バルブ・アセンブリ	1	
S53字フィッティング	2	
ホース・クランプ(大; 1 インチ)	4	
ホース・クランプ(小; 1/2 インチ)	6	
コントロール・ボックス取り付けブラケット	1	
フランジヘッド・ボルト, 5/16 x 3/4 インチ	2	フロー・コントロール・ボックスの取付に使用します。
フランジ・ナット, 5/16 インチ	2	
ボーラー・バルブ・アセンブリ	1	
フランジヘッド・ボルト, 1/4 x 3/4 インチ	4	
フランジヘッド・ナット, 1/4 インチ	2	
ゴム製トリム・ピース	1	
ホース(小; 1/2 インチ径)	3	
鋸歯付きフィッティング(1/2 インチ)、プラスチック製	1	

内容	数量	用途
水圧計	1	
リデューサ・フィッティングとナット	1	
フィッティング (小)、プラスチック製	1	
コントロール・ボックス・カバー	1	
銀色のフィッティング (小)	1	
赤いチューブ	1	
トグル・スイッチ	1	
一時スイッチ	1	スイッチ、計器、カバーの取付に使用します。
後部コントロール・ボックス・ワイヤ・ハーネス	1	
ヒューズ、10 A	1	
スイッチ・ワイヤ・カバー	1	
フランジヘッド・ボルト、 $1/4 \times 3/4$ インチ	9	
フランジ・ナット、 $1/4$ インチ	4	
ノブ	1	
フィッティング付きホース (長)、直径 $1/2$ インチ	1	
スプレー・ガン	1	スプレー・ホースの接続に使用します。
ホース・クランプ (小)、プラスチック製 (予備1個を含む)	2	

マシンの準備を行う

- 散布装置の中に水や薬液が残っていないことを確認する。薬剤を使用した散布装置は真水で入念に洗浄する。洗浄手順については散布車のオペレーターズマニュアルを参照すること。
- バッテリーのマイナス (-) 端子からバッテリー・ケーブルを外す。
- 機体右側にあるタンク・サドルの、機体前部から3つ目の穴の位置を確認する。タンク・サドルの3つ目の穴の中心から後方へ5cmの位置にマーキングする (図1)。

注: その位置にすでに穴がある場合は、「フレームを組み立てる」に進んでください。

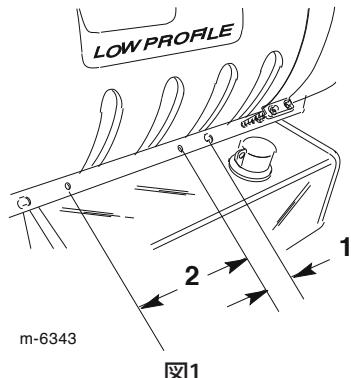


図1

1. 5 cm
2. 25 cm
4. 先のマークから後方へ25 cmの位置にマーキングする (図1)。
5. マーキングした2ヵ所に、穴の上下方向の中心をタンク・サドルの中心に合わせて、穴をあける (直径 $7/16$ インチ; 図1)。

フレームを組み立てる

1. ホース・リール・サポートを油圧オイルタンク・マウント(図2)に取り付ける。フランジ・ボルト2本(3/8 x 1インチ)とフランジ・ナット2個(3/8インチ)を使用。後で調整を行うのでナットは固く締めないこと。

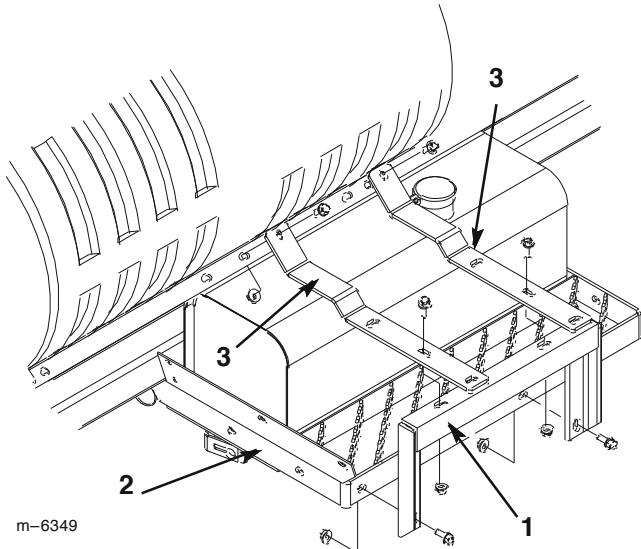
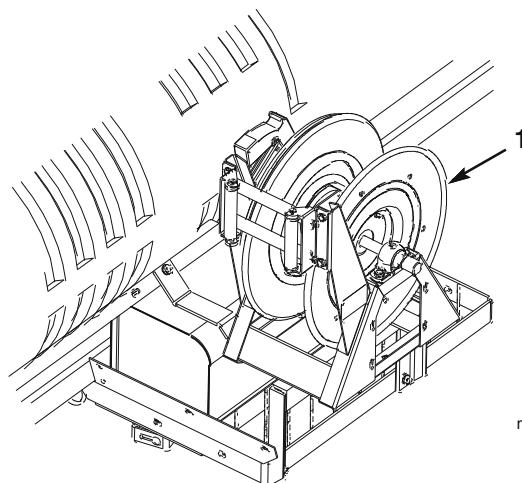


図2

1. ホース・リール・サポート
2. 油圧オイルタンク・マウント
3. ホース・リール・ストラップ

2. 上記で位置を確認した、または新たにあけた、タンク・サドルの穴に、ホース・リール・ストラップ2本の端部を差し込む。(図2)。フランジ・ボルト2本(3/8 x 1インチ)とフランジ・ナット2個(3/8インチ)を使用。
3. ホース・リール・サポートをホース・リール・ストラップに取り付ける(図2)。フランジ・ボルト2本(3/8 x 1インチ)とフランジ・ナット2個(3/8インチ)を使用。
4. ストラップとホース・リール・サポートを正確に水平にして、全ての取付金具を締め付ける。
5. ホース・リール・アセンブリをホース・リール・ストラップ(図3)に取り付ける。フランジ・ボルト4本(3/8 x 1インチ)とフランジ・ナット4個(3/8インチ)を使用。



1. ホース・リール・サポート

6. ホース・リールの内側のローラ・サポートの下側のボルトとナット1個ずつを外す(破棄してよい)。空いた穴に、フランジ・ボルト(5/16 x 1インチ)とフランジ・ナット(5/16インチ)各1個を使用して、電気ボックスを取り付ける(図4)。

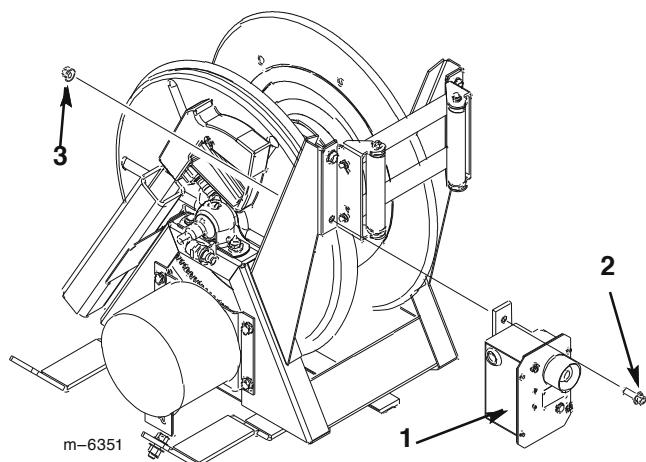


図4

1. 電気ボックス
2. フランジ・ボルト、5/16 x 1インチ
3. フランジ・ナット、5/16インチ

7. ホース・リールのワイヤ・ハーネスを電気ボックスからサドル・サポートの後ろ、そして座席ボックスの下をくぐらせて、運転席の下まで引く。

8. 主配線ハーネスに沿って、ワイヤ・ハーネスをヒューズ・ブロック/ソレノイド部まで引き、ケーブル・タイ10個を使って固定する。
9. 主配線ハーネスに沿って、ワイヤ・ハーネスをヒューズ・ブロック/ソレノイド部まで引き、ケーブル・タイ10個を使って固定する。
10. 電源コードを、運転席下のソレノイドに接続する(図5)。

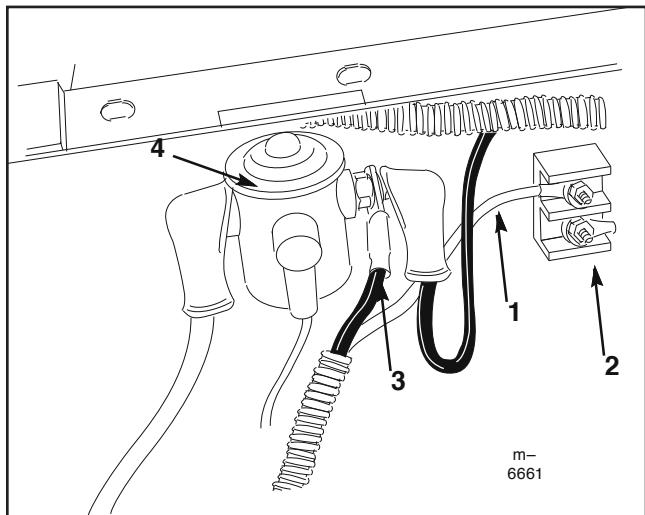


図5

1. 電気ボックスの黒いアース・ワイヤをホース・リールへ
2. アース端子ブロック
3. 電気ボックスの赤い電源コードをホース・リールへ
4. ソレノイド

11. 黒いアース・ワイヤをアース端子ブロックのアース端子に接続する(図5)。

フロー・コントロール・ボックスを取り付ける

マシンの準備を行う

取付ポストを次の手順で取り付ける:

- 標準ブームを取り付けた散布車の場合は、右側ブーム・ホルダーについている1番下の穴の中心から上に9.2 cm の位置に、直径 8.4 mm の穴を開ける(図6)。

注:右ブーム・ホルダの取付位置を確認してください。
取付穴の一番下の位置に取り付けておく必要があります。他の位置にある場合は、取付金具をゆるめて下へ下げ、取付金具を締め直してください。

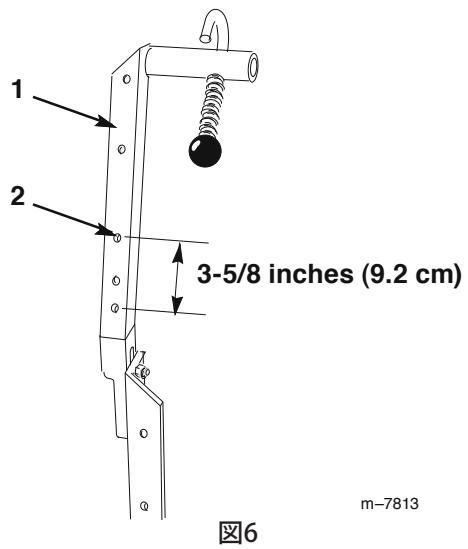


図6

1. 右ブーム・ホルダ
2. 穴をあける(直径11/32 インチ、8.7 mm)

- カバー付きブームの場合、またはブームを搭載していない場合は、コントロール・ボックス・サポート・ブラケットを右後ろブーム・フレーム(図7)に取り付ける。既存の金具、フランジ・ボルト(1/2 x 1/2 インチ)とフランジ・ナット(1/2 インチ)各1個を使用。

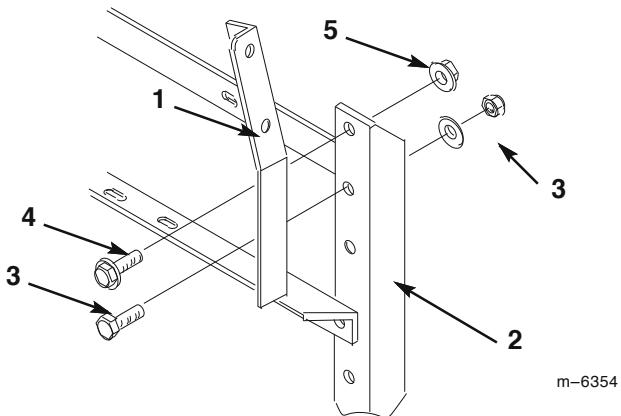


図7

1. コントロール・ボックス・サポート・ブラケット
2. 右後ろブーム・フレーム
3. 既存の金具
4. フランジ・ボルト、1/2 x 1/2 インチ
5. フランジ・ナット、1/2 インチ

本体側のホースに差し込む

- ブーム送液バルブ右側のT字管に接続されているブーム送液ホースを止めているリテーナを外し、ホースを外す(図8)。

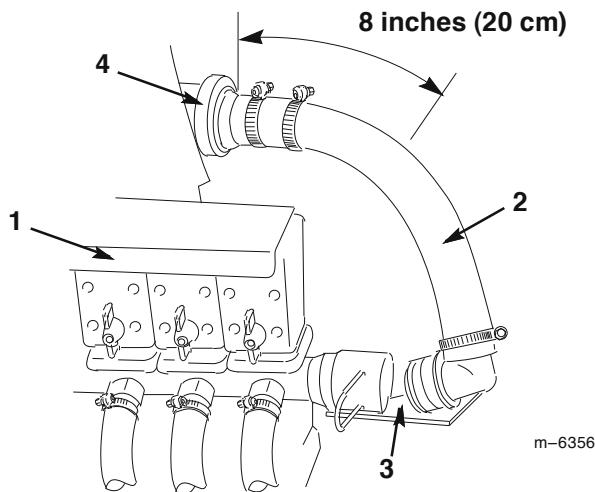


図8

1. ブーム送液バルブ
2. ブーム送液ホース
3. ここを外す
4. フロー・メータ

2. ブーム送液ホースを、フロー・メータ(装着している場合)の右8インチ(20 cm)、または送液T字管(ブーム・バルブのすぐ後ろにある)から32インチ(114.30 cm)のところで、金のこを使って切断する(図8)。ゆるめた側からホース・クランプを外す。ホースとフィッティングを廃棄する。
3. 制御バルブ・アセンブリから鋸歯付きフィッティングとリテーナを外す(図13)。
4. フィッティングの鋸歯部分と、フロー・メータまたは送液T字管から出ているホースの内側に、液体せっけんをたっぷり塗る。
5. 戻り止め付きホース・クランプ(大;ステップ2でホースから外したもの)をホースにはめ、フィッティングをホースに取り付ける。一杯まで入れること。取り付けたらフィッティングをホース・クランプで固定する(図9)。

重要 フィッティングがホースに入りにくいことがあります。しかし漏れ防止のためには、フィッティングを一杯まで入れることが非常に重要です。必要なら、フロー・メータのところでホースを本体から外して、フィッティングを確実に取り付けてください。

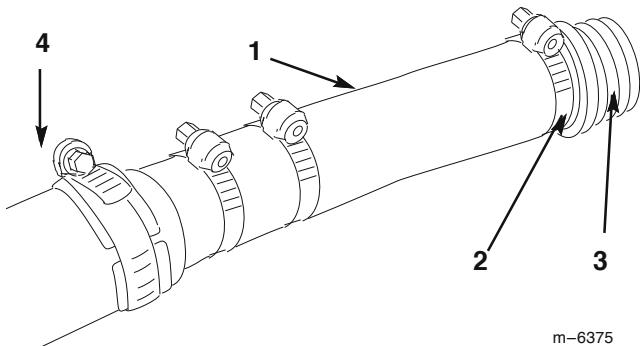


図9

1. ホース
2. 戻り止め付きホース・クランプ
3. フィッティング
4. フロー・メータ

6. ブーム送液バルブの後ろでT字管を固定している取付金具を外し、T字管がホースからぶら下がるようにする(図10)。

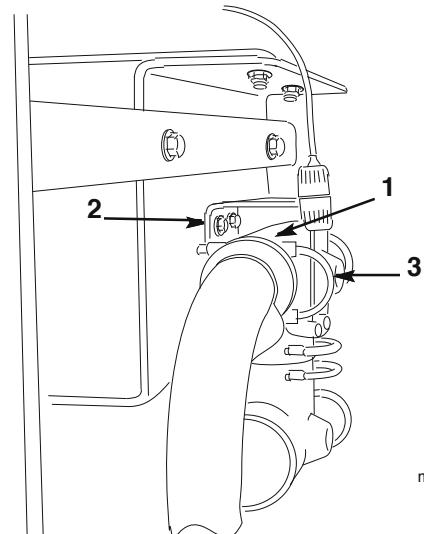
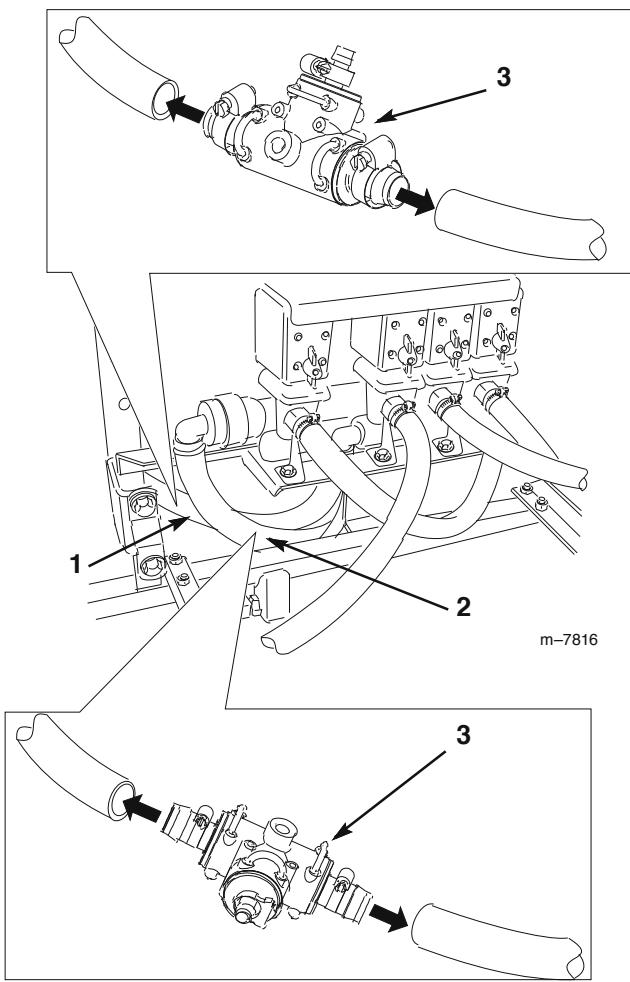


図10

1. ブーム送液バルブ後ろのT字管
2. 取り付け金具
3. ポート(ここに穴を開ける)

7. T字管の背面にあるポートに、慎重に穴(直径1/4インチ、6.35 mm)をあける(図10)。
8. ブーム送液バルブの背面にT字管を取り付け直す。上記で外した取付金具を使用して固定する。

9. ブーム・バルブとタンクの間のバイパス・ホースを途中で切断する。(図11)。



1. バイパス・ホース
2. 搅拌ホース
3. S53T字フィッティング

10. 切断した個所にS53T字フィッティング・アセンブリを、鋸歯部分に塗った液体せっけんを利用しながら、差し込む。ホース・クランプ(大;プラスチック製)2個を使用(図11)。

11. 搅拌送液ホースを半分に切断する(図11)。
12. 切断した個所にS53T字フィッティング・アセンブリを、鋸歯部分に塗った液体せっけんを利用しながら、差し込む。ホース・クランプ(大;プラスチック製)2個を使用(図11)。

制御バルブを取り付ける

1. コントロール・ボックス取付ブラケットをブーム・ホルダまたはコントロール・ボックス・サポート・ブラケットに取り付ける(図12)。フランジ・ボルト(5/16 x 3/4 インチ)2本およびフランジ・ナット(5/16 インチ)2個を使用。

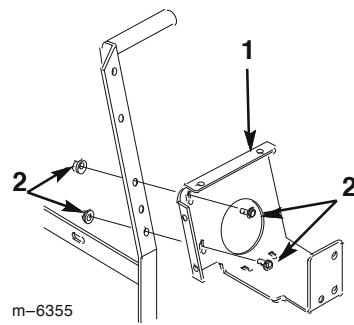
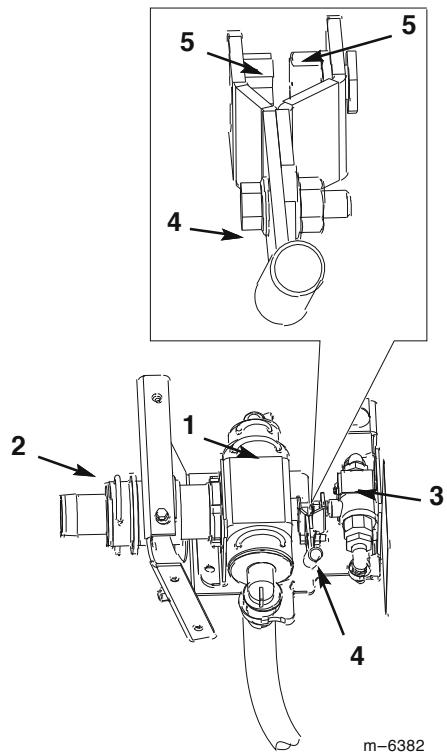


図12

1. コントロール・ボックス取付ブラケット
2. フランジヘッド・ボルト、5/16 x 3/4 インチ
3. フランジ・ナット、5/16 インチ

2. ボール・バルブ(小)アセンブリにあるレバー・アセンブリの端部を制御バルブ・アセンブリに連結させる(図13)。



m-6382

図13

1. 制御バルブ・アセンブリ
2. フィッティングとリテーナ
3. ボール・バルブ(小)アセンブリ
4. レバー・アセンブリ
5. レバー・アセンブリの軸

3. ブーム送液ホースに取り付けたフィッティングを制御バルブ・アセンブリに接続し、上記で外したリテナを使って固定する(図14)。

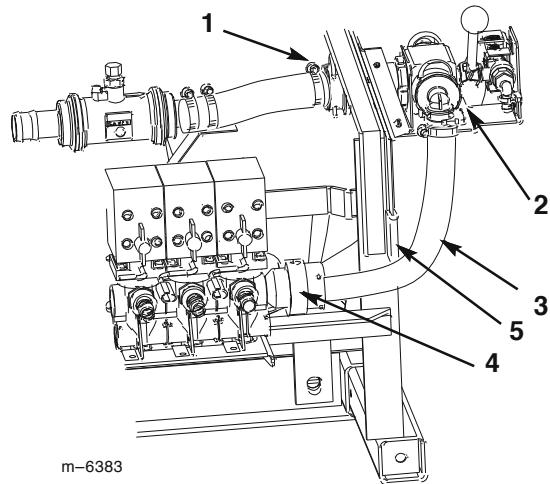


図14

1. ブーム送液ホースをここで制御バルブ・アセンブリに接続
2. 制御バルブ・アセンブリ
3. ホース(大)
4. 制御バルブ・アセンブリから出ているホース(大)をここでブーム送液バルブに接続
5. ゴム製トリム
4. 制御バルブ・アセンブリを、フランジ・ボルト(1/4 x 3/4インチ)2本を使用して、コントロール・ボックス取付ブラケットに取り付ける(図13)。ただし取付金具は締めないこと。
5. ボール・バルブ(小)アセンブリを、フランジ・ボルト(1/4 x 3/4インチ)2本およびフランジ・ナット(1/4インチ)2個を使用して、コントロール・ボックス取付ブラケットに取り付ける(図13)。ただし取付金具は締めないこと。
6. 各バルブのレバーの軸と両バルブの位置を合わせる(図13)。各部がきっちりおさまるように調整するには、場合によってはフロー・メータを本体に固定しているホース・クランプをゆるめる必要がある。
7. 全ての金具を締める。

8. 旧モデルの機械の場合、ホールド・イン・アセンブリを切断してホースの通る隙間を確保する必要があります(図15)。

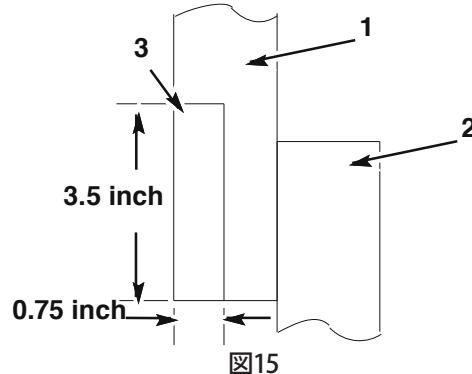


図15 車両右側からみた図

1. ブーム・ホールド・イン
2. ブーム・アップライト
3. ここで切断
9. 切断で生じた角部をヤスリで丸める。
10. 制御バルブ・アセンブリのホース(大)のフィッティングを、ブーム送液バルブ右側のフィッティングに接続する(図14)。
11. ホース(大)を制御バルブから外し、バルブの内側を確認する(図14)。チェック・ボールの開口部が上向きにカーブしているのが見えれば適正。見えない場合は、開口部が完全に見えて上向きにカーブするまでボールを回転させる。
12. ホース(大)を制御バルブに接続する(図14)。
13. ホースの保護のため、フレームの端部をゴム製のトリム・ピースで覆う(図14)。
14. 搅拌ホースに取り付けたS53 T字管の空いたフィッティングに短い1/2インチホースを接続し、このホースをボール・バルブ(小)アセンブリの後ろ側の1/2インチ鋸歯まで引く(図16)。

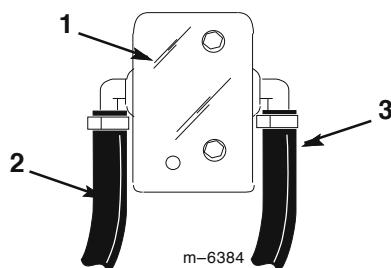


図16

1. コントロール・ボックス取付ブラケットの右側
2. 搅拌ホースから
3. バイパス・ホースから

17. バイパス・ホースに取り付けたS53 T字管の空いたフィッティングに短い1/2 インチホースを接続し、このホースをボール・バルブ (小) アセンブリの前側の1/2 インチ鋸歯まで引く (図16)。
18. このホースをたるまない程度に適当な長さに切り、ホースを前側のフィッティングに接続する。
19. ホースを両方のフィッティングに固定する。ホース・クランプ2個 (小; プラスチック製) を使用。
20. 鋸歯付きフィッティング (1/2 インチ) のネジ部にテフロンテープを左回りに巻き、フィッティングをホース・リール側面の流入側ポートに差し込む (図17)。

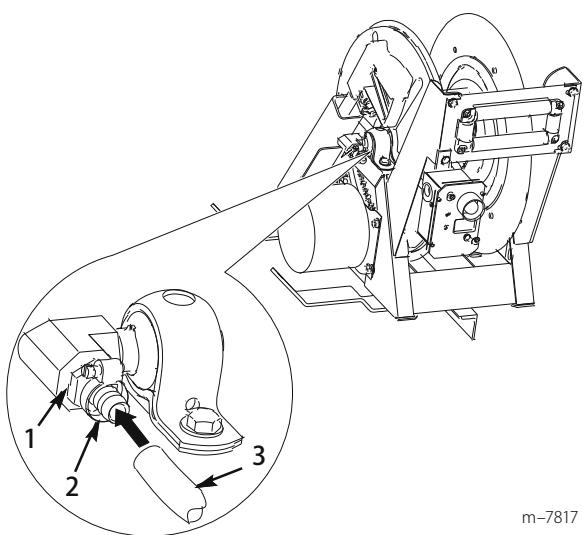


図17

1. 流入側ポート
2. 鋸歯付きフィッティング (1/2 インチ)
3. ホース

21. 1/2 インチホースを制御バルブ・アセンブリの空いたフィッティングに接続する (図18)。

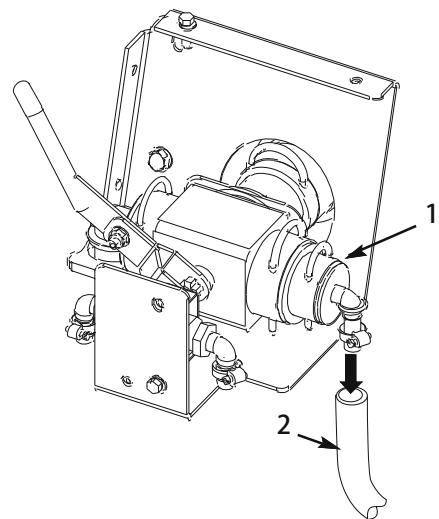


図18

1. 制御バルブ・アセンブリ
2. ホース

22. ホースをホース・リールのフィッティングに接続し (図17)、両端をホース・クランプ (小; プラスチック製) で固定する。
23. ケーブル・タイを使って、ホースをタンク・サドルのスロットに固定する。

各制御スイッチと水圧計を取り付ける

1. 水圧計のネジ部にテフロンテープを左回りに巻き、リデューサ・フィッティングを水圧計に取り付ける (図19)。

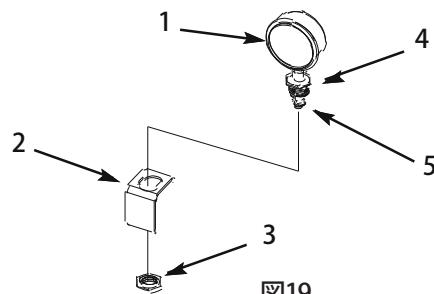


図19

1. 水圧計
2. ブラケット (コントロール・ボックス・カバーの内側)
3. ナット
4. 縮径フィッティング

2. 黒いフィッティング (プラスチック製) を水圧計の縮径フィッティングに取り付ける (図19)。

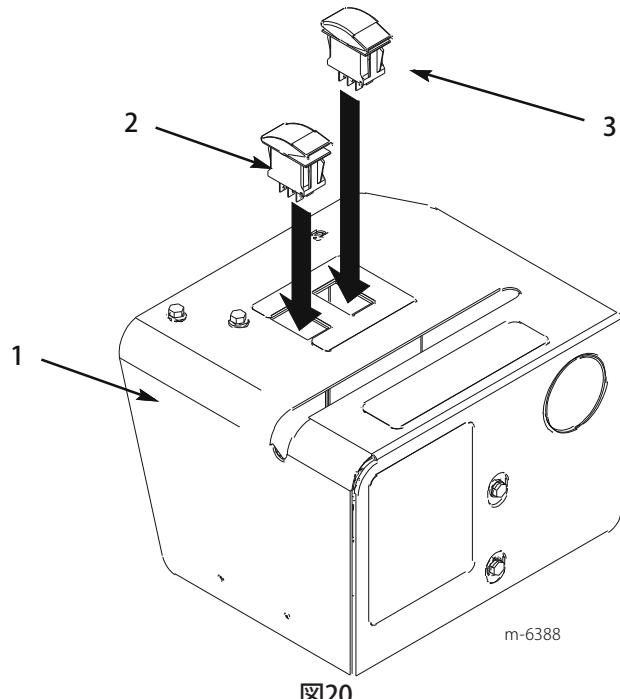
3. 水圧計を、コントロール・ボックス・カバー内側の丸い穴の下にあるブラケットに取り付け、水圧計に同封されているナットを使用して固定する(図19)。

注:水圧計の正面をカバーの丸い穴に向けてください。

4. 赤いチューブと同封されている銀色のフィッティング(小)のネジ部にテフロンテープを左回りに巻き、ブーム・バルブの前にあるT字管にあけたポートに取り付ける(図10)。

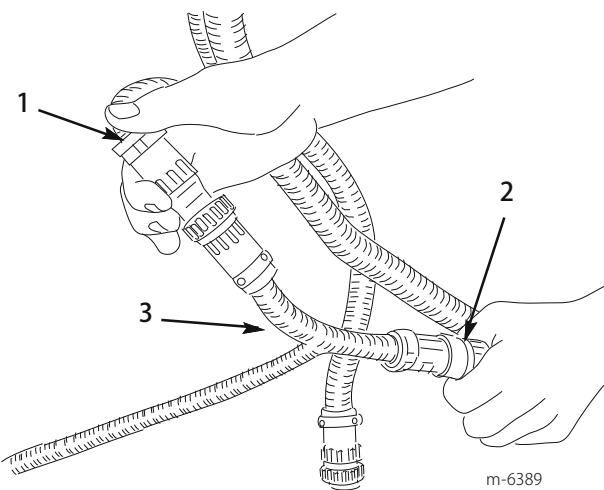
5. カバーの上にある長方形の穴にスイッチ2個を取り付ける(図20)。一時スイッチ(押している間だけ有効なスイッチ)を、無段階調整・プラス(+)・マイナス(-)のマークがある穴に取り付ける。

注:各スイッチの底部にある小さい正方形の穴をカバーの長穴に向けてください。

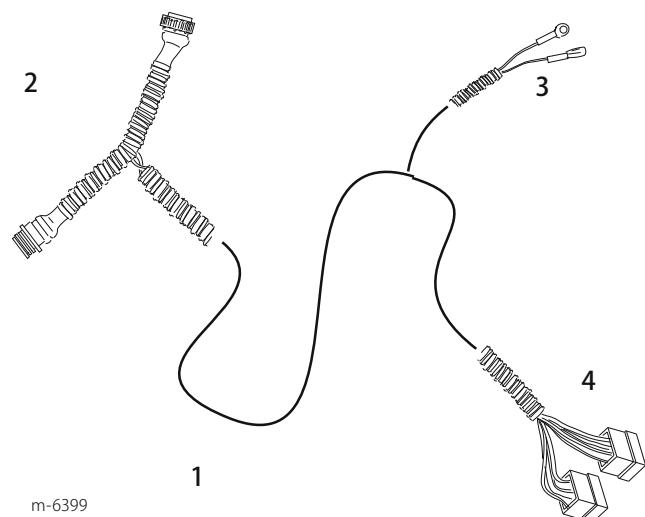


1. コントロール・ボックス・カバー
2. トグル・スイッチ
3. 一時スイッチ

6. ダッシュボード下の手動コントロール・ボックスとスプレー・ハーネスの間のコネクタを外す(図21)。



1. 既存の手動コントロール・ボックス・ハーネス
2. スプレー・ハーネス
3. 新しい後部コントロール・ボックス・ハーネスのT字端部



1. 後部コントロール・ボックス・ワイヤ・ハーネス
2. T字端部
3. アイ・リング・コネクタとスペード・コネクタの付いた中間リード線
4. スイッチのコネクタ

7. 新しい後部コントロール・ボックス・ハーネスのT字端部で手動コントロール・ボックス・ハーネスとスプレー・ハーネスの間を接続する(図21および22)。

8. 後部コントロール・ボックス・ハーネスを、ダッシュボードに通し、車両の下をたどって、ワイヤ・ハーネス・リングに通し、ふたたびコントロール・ボックスまで戻す(図23および24)。

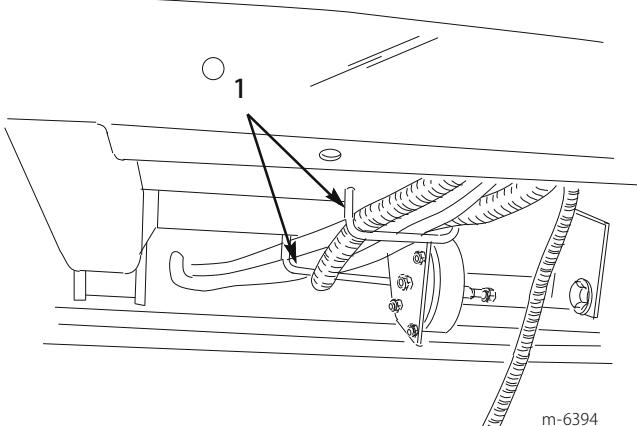


図23

1. ワイヤ・ハーネス・リング

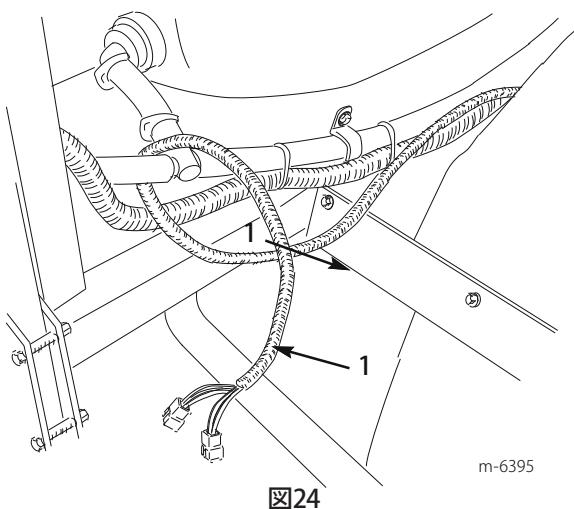


図24

1. 後部コントロール・ボックス・ハーネスをコントロール・ボックス部まで引いたところ

9. 中間リード線をエンジン室内部に引き込み、メイン・ワイヤ・ハーネスを固定しているケーブル・ガイドに通して、エンジン前部に沿って引く。

10. スペード・コネクタの付いた中間リード線を運転席下のヒューズ・ボックスの空いたリード線に接続する(図22および25)。

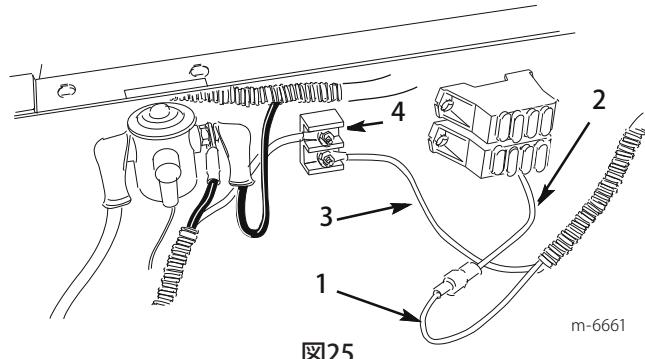


図25

1. スペード・コネクタの付いた中間リード線
2. ヒューズ・ブロックの空いたリード線
3. アイ・リング・コネクタの付いた中間リード線
4. アース端子ブロック

11. 必要に応じて、ワイヤを接続した位置に10A ヒューズを取り付ける。
12. アイ・リング・コネクタの付いた中間リード線をアース端子ブロックのアース端子に接続する(図25)。
13. 緑と黄色(色が違う場合もある)のラインが付いているコネクタをスプレー選択スイッチ(トグル式スイッチ)に接続する。

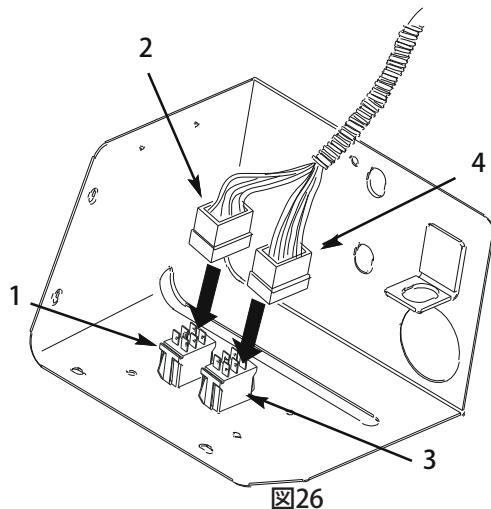


図26

1. スプレー選択スイッチ
2. 緑と黄色のラインが付いているコネクタ(色が違う場合もある)
3. レート制御スイッチ
4. マルチカラーのラインが付いているコネクタ

14. マルチカラーのラインが付いているコネクタをレート制御スイッチ(一時スイッチ)に接続する(図26)。

15. スイッチとワイヤを覆うようにスイッチ・ワイヤ・カバーを取り付け(図27)、フランジ・ボルト(1/4 x 3/4 インチ)4本とフランジ・ナット(1/4 インチ)4個で固定する。

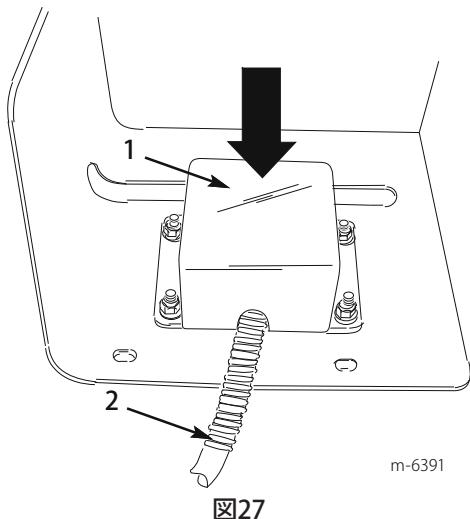


図27

m-6391

1. スイッチ・ワイヤ・カバー
2. ワイヤ・ハーネス

16. 赤いチューブ（小）を、ステップ4で取り付けた銀色のフィッティングと、水圧計底部のフィッティングとに接続する。

17. コントロール・ボックス・カバーをコントロール・ボックス取付ブラケットに取り付ける（図28）。フランジ・ボルト（ $1/4 \times 3/4$ インチ）5本を使用。

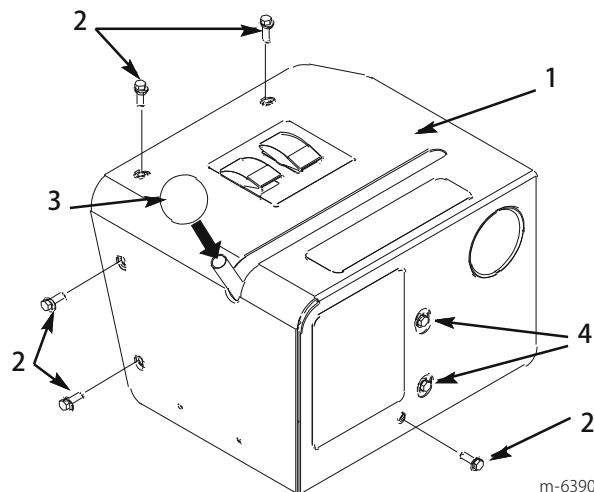


図28

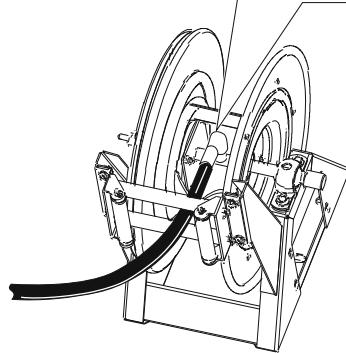
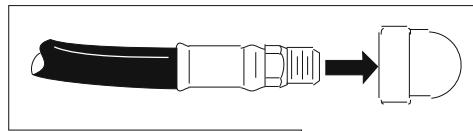
1. コントロール・ボックス・カバー
2. フランジ・ヘッド・ボルト、 $1/4 \times 3/4$ インチ
3. ノブ
4. レバー調整ボルト

18. ノブをバルブ制御レバーに取り付ける（図28）。

19. 必要であれば前パネルのボルトをゆるめ、バルブ・アセンブリの位置を変えてレバーがスロットの中を動けるようにする（図28）。

スプレー・ホースをつなぐ

1. ホース（長）のフィッティングのネジ部にテフロンテープを左回りに巻き、フィッティングをリールの接続チューブに差し込む（図29）。



m-6393

2. ホース（長）のもう一端をスプレー・ガンのフィッティングにつなぐ（図30）。

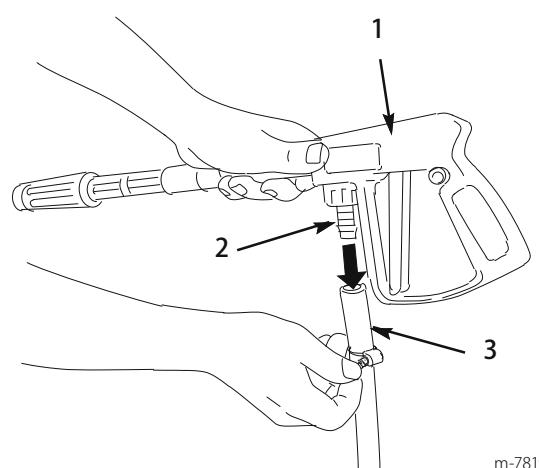


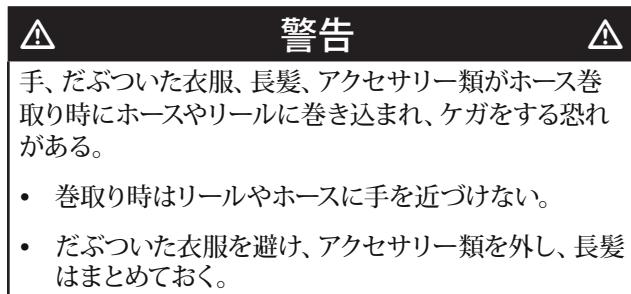
図30

1. スプレー・ガン
2. ホースのフィッティング
3. ホース

3. ホースの端をホース・クランプ（小）で固定する。

4. バッテリーにマイナス（-）ケーブルを接続し、始動キーをRun位置に回す。

5. ホース巻取りボタンを押し、注意深くホースをリールに巻いていく。



安全について

不適切な使い方をしたり手入れを怠ったりすると、人身事故につながります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識のついている遵守事項は必ずお守りください。△これは「注意」、「警告」、「危険」など、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生することがあります。

散布車両のオペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順もよくお読みください。

- ・ハンド・スプレーヤを人や動物に向けないでください。高圧の液体は皮膚を貫通して重傷を引き起こす恐れがあり、身体部の切断や死亡に至ることもあります。また高温になった液体や薬品はやけどを起こすことがあります。万一、薬液の噴射流に触れた場合は直ちにこの種の事故に詳しい医師の診察を受けてください。
- ・スプレー・ノズルの前に手などを出さないようにしてください。
- ・作業場を離れる時は機器に水圧が掛かった状態で放置しないでください。
- ・ホースやトリガー・ロック、ノズルなど部品に少しでも損傷や欠落がある場合は、ハンド・スプレーヤを使用しないでください。
- ・ホースやフィッティングなどの部品に少しでも漏れが発生している場合は、ハンド・スプレーヤを使用しないでください。
- ・電線の近くで散布作業を行わないでください。
- ・車両を運転しながらハンド・スプレーヤで散布作業をしないでください。
- ・薬品をハンド・スプレーヤで散布する時は、ゴム手袋、安全ゴーグル、全身保護スーツを着用してください。

安全ラベルと指示ラベル

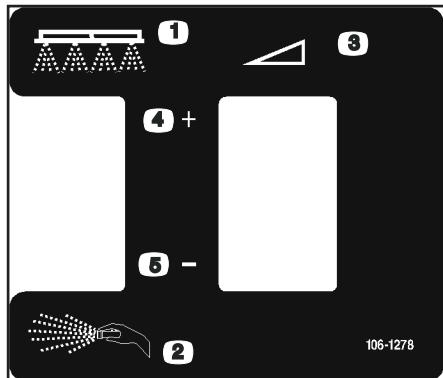


危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



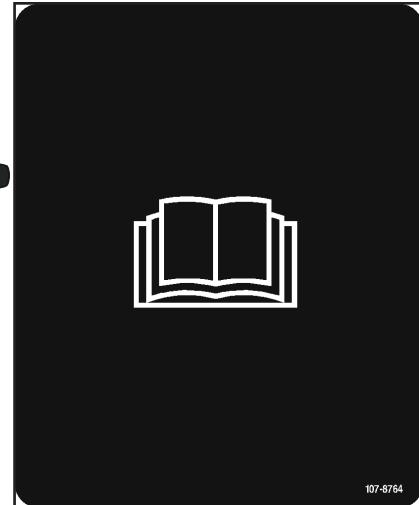
106-1277

1. ブーム・スプレー
2. ハンド・スプレー



106-1278

1. ブーム・スプレー
2. ハンド・スプレー
3. 無段階調整
4. 上げる
5. 下げる



107-8764

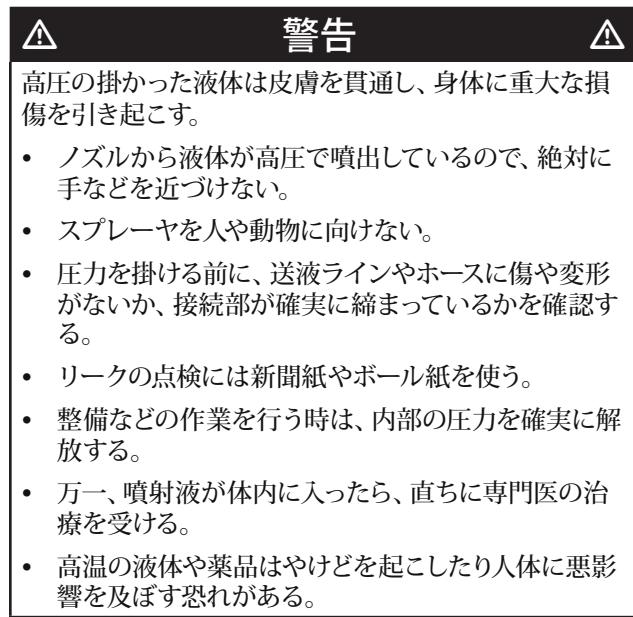
1. オペレーターズマニュアルを読むこと。



107-8757

1. ホース巻取り；押すと作動。

運転操作



停止モードで作業中にターフを傷つけないために

重要 スプレーヤを停止させた状態で作業中に、エンジンやラジエーター、マフラーなどからの熱が原因でターフを傷めてしまう可能性があります。停止モードとは、走行しないで攪拌だけを行う、ハンドガンで手撒きする、歩行型ブームで手撒きするなどを言います。

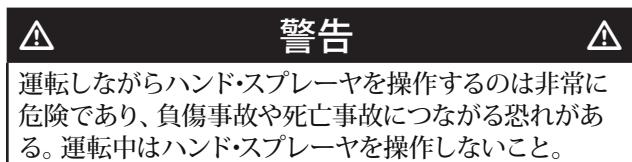
以下の注意を守ってください:

- 酷暑の時期や極めて乾燥している時期にはターフが大きなストレスを受けているので、ターフ上に停止して散布するのは避ける。
- 停止モードで作業する時には、ターフの上に停止しないようにする。可能な限り、カートパスなどに停車する。
- ターフ上に停車する時は、停車時間をできるだけ短くする。ターフへの害は温度と時間が両方が影響することを忘れないようにする。
- エンジンの回転速度をできるだけ下げ、必要最小限の水圧と水量で作業する。これにより、発熱をできるだけ小さくし、また冷却ファンからの熱風をゆるやかにすることができる。
- 停止モードで作業するときには、エンジンの熱ができるだけ上に逃げるように運転席を倒し車体上部に通風領域を確保する。運転席の倒し方についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

注: 熱の害が心配される場合には車両の下に 防熱ブランケットを敷く。ターフ・スプレーヤ用防熱ブランケットは、トロの代理店で入手することができる。

ブーム・スプレー・モードからハンド・スプレー・モードへの切り替え

- スプレーヤを停止し、駐車ブレーキを掛ける。



- スロットルを、全開から 25 %程度の位置にセットする。
- ポンプ・スイッチがON、プロ・コントロール（あれば）が手動位置になっていることを確認する。
- スプレー・ガンのトリガー・ロックが掛かっていることを確認する。
- スプレー選択スイッチをハンド・スプレー位置にする（図31）。

注: 26.5 リットル毎分以上の流量を必要とする散布作業では十分な性能を確保できない可能性があります。散布は、必要な水圧、速度など様々な要素に支配されており、これらを調整することにより変化します。この製品は、各構成品を所定の設定で使用した場合に十分な性能を発揮するよう製造されています。詳細についてはノズル選択ガイドをご覧ください。

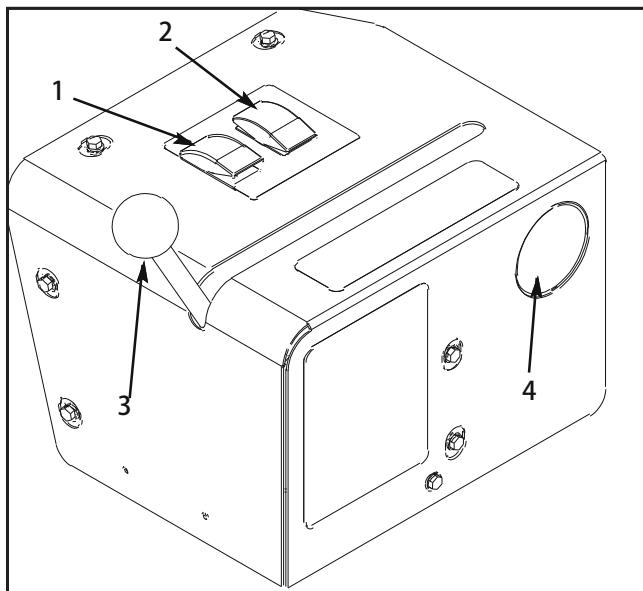


図31

- スプレー選択スイッチ
- レート制御スイッチ
- バルブ制御レバー
- 水圧計

6. バルブ制御レバーを前に動かしてハンド・スプレー位置にする(図31)。
7. 水圧計が希望値を示すようにレート制御スイッチで調整する(図31)。

注: スロットルはできるだけ低い設定で使用してください。このためには、レート制御スイッチを最大にセットしてからスロットルを調整して希望水圧にするとよいでしょう。

注: 推奨最大水圧は10.5 kg/cm² (150 psi) です。

5. ホース巻取りボタンを押し、1メートル程度を残してホースを巻き取る。
6. スプレー・ガンをリール背面のホルダに戻す。

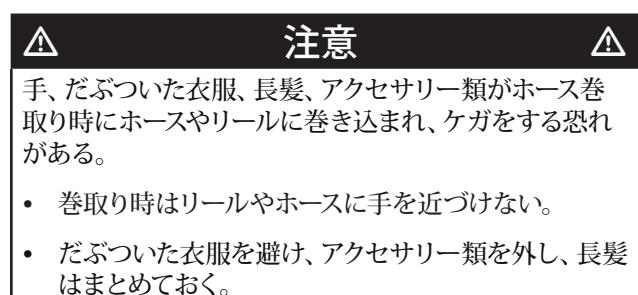
重要 ホースをきちんと固定しておかないと周囲のものにぶつけて破損する恐れがあります。

ハンド・スプレーヤでの散布作業

1. 必要な長さのホースをリールから引き出す。
- 重要** ホースを引き出す時にスプレー・ガンを引っ張らないでください。必ず直接ホースを持って引き出してください。スプレー・ガンを引っ張るとガンのフィッティングが破損することがあります。
2. トリガーのロックを外す。
 3. スプレー・ガンのノズルを散布したい場所に向け、トリガーを引く。
 4. 散布が終わったらトリガーから手を離し、トリガーのロックを掛ける。

ハンド・スプレー・モードからブーム・スプレー・モードへの切り替え

1. ホース・リールの巻取りボタンを押し、50 cm~1 mほど残してホースを巻き取る。



2. バルブ・レバーを後方に動かしてブーム・スプレー位置にする。
3. スプレー選択スイッチをブーム・スプレー位置にする。
4. 液体を噴射しても安全な場所にスプレー・ガンのノズルを向け、トリガーのロックを外し、トリガーを引いてホースに残った液体を全部出し切る。終わったらトリガーのロックを掛ける。

